

1. 件名：確率論的リスク評価（PRA）モデルに関する関西電力株式会社等との面談

2. 日時：令和元年10月2日（水）10：00～12：30

3. 場所：四国電力株式会社東京支社会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

検査監督総括課 布田検査評価室長、笠川室長補佐

技術基盤グループ

シビアアクシデント研究部門 下崎技術研究調査官、伊東技術研究調査官、
濱口技術研究調査官、上田技術研究調査官、
藤本技術参与

システム安全研究部門 渡辺技術研究調査官

関西電力株式会社 原子力事業本部

原子力安全部門 安全技術グループ マネージャー 他3名

四国電力株式会社 原子力本部

原子力保安研修所 原子力安全リスク評価グループリーダー 他2名

三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部

炉心・安全技術部 主幹プロジェクト統括 他3名

株式会社原子力エンジニアリング 課長

一般財団法人電力中央研究所 原子力リスク研究センター

リスク情報活用推進チーム 上級特別契約研究員 他3名

5. 要旨

(1) 原子力規制庁より、配布資料（1）に基づき、関西電力株式会社（以下「関西電力」という。）から貸与を受けている確率論的リスク評価の解析モデル（以下「PRAモデル」という。）の適切性を確認するための質問について説明した。今後は、PRAモデルの適切性を確認するための質問について、関西電力が回答を準備するとともに、原子力規制庁は継続して面談で回答内容を確認していくこととした。

(2) 本年9月6日の面談に引き続き、関西電力より、配布資料（2）に基づき、大飯発電所3・4号機のPRAモデルの特徴及び四国電力株式会社の伊方発電所3号機のPRAモデルとの主な相違点について説明があった。関西電力の説明内容につい

て、今後詳細な説明が必要なものについては、原子力規制庁は継続して面談で確認していくこととした。

6. 配布資料

- (1) 事業者PRAモデルの適切性の確認のための質問事項(その1) (原子力規制庁)
- (2) 大飯3・4号機PRAモデルと伊方3号機PRAモデルの主要な相違点 (本年8月8日の面談における関西電力資料)

<https://www2.nsr.go.jp/data/000283637.pdf>